JENESYS

環境資源を活かした先進的なまちづくりを学ぶ・日韓若者交流リーダー育成事業（招へい・派遣プログラム）の記録（対象国：韓国，招へいテーマ：『水の都・三島』と『世界文化遺産富士山』に学ぶ・日本の環境再生・地域再生の手法と若者の役割，派遣テーマ：韓国江華島とソウルの環境再生・地域資源の活用に学ぶ・地域協働のまちづくりと若者の役割）

1. プログラム概要

環境保全や地域再生，まちづくりに関心のある日韓の大学生ら各16名が，互いの国を訪問し，希少植物・梅花藻（バイカモ）を通じた環境交流プログラムに参加しました。

招へい事業では，8月2日から7日までの5泊6日の日程で，静岡県三島市の源兵衛川や三島梅花藻の里などでの環境整備活動体験，富士山でのエコツアー，日本の学生らとの環境に関する意見交換会などを行いました。

派遣事業では，9月18日から23日までの5泊6日の日程で，仁川広域市江華郡の梅花藻保全水田での保護活動や干潟での環境美化活動体験，ソウル特別市のSeoullo7017や清渓川といった環境資源を活かしたまちづくり実践地の視察などを行いました。また，両プログラムでそれぞれ，今後のアクション・プラン（活動計画）の作成ワークショップと発表会も開催するとともに，プログラムを通して感じたことや学んだことを，SNSを通じて発信しました。

【訪問地】

静岡県，山梨県，東京都（招へい事業）　　仁川広域市，ソウル特別市（派遣事業）

2. 日程

【招へい事業】

8月2日（水）

羽田空港から入国，静岡県へ移動

8月3日（木）

【視察】源兵衛川，三島梅花藻の里環境整備活動（ちゃんかけ<捨てられた茶碗のかけら>拾いなど），三嶋大社

【交流】三島市長表敬訪問・意見交換会，【体験】コミュニティラジオ番組出演（エフエムみしま・かんなみ「グラウンドワーク三島アクショントーク！」）

8月4日（金）

【体験】富士山エコツアー（五合目～宝永火口トレッキング）

【講義】水辺自然環境の再生活動
【交流】日本学生との交流・意見交換会，アクションプラン策定ワークショップ

8 月 5 日（土）
【視察】楽寿園，白滝公園
【体験】源兵衛川自然観察会，境川・清住緑地ビオトープ整備

8 月 6 日（日）
【体験】松毛川河畔林再生活動，感想報告会

8 月 7 日（月）
東京都へ移動，羽田空港より出国

【派遣事業】
9 月 18 日（月）
金浦空港より入国
【講義】江華島梅花藻保全地（ラムサール条約湿地）のモニタリングと生態について
【体験】江華島梅花藻保全水田の湿地作り体験

9 月 19 日（火）
【視察研修】江華島干潟センター，江華支石墓群，広城堡
【報告会】「日韓若者リーダー・アクションプラン」まとめと発表
【体験】江華ナドルギル（遊歩道）散策，環境整備活動（ゴミ拾い）
【交流】江華郡環境担当者との意見交換会

9 月 20 日（水）
【視察】臨津江，統一村

9 月 21 日（木）
【視察】清渓川博物館，清渓川，ソウルの森
【講義】ソウルの森とソウルグリーントラストの活動について

9 月 22 日（金）
【視察】宗廟，昌徳宮，戦争記念館

9 月 23 日（土）
【視察】Seoullo7017，南山韓屋村
金浦空港より出国

3. プログラム記録写真

【招へい事業】

8 月 3 日 【交流】三島市長を表敬訪問（静岡県三島市）	8 月 3 日 【視察】源兵衛川にて三島梅花藻（静岡県三島市）
8 월 3 일 【교류】미시마 시장 예방 (시즈오카현 미시마시)	8 월 3 일 【시찰】겐베에강에서 미시마 매화 마름 (시즈오카현 미시마시)
8 月 4 日 【体験】富士山トレッキング（静岡県富士宮市）	8 月 4 日 【交流】都留文科大学（山梨県都留市）
8 월 4 일 【체험】후지산 등산 (시즈오카현 후지노미야시)	8 월 4 일 【교류】츠루문과대학 (야마나시현 츠루시)
8 月 5 日 【視察】境川・清住緑地でビオトープ整備体験（静岡県三島市）	8 月 6 日 【体験】松毛川の環境整備活動・放置竹林の伐採（静岡県三島市）
8 월 5 일 【시찰】사카이강·기요즈미 녹지에서 비오토프 정비 체험 (시즈오카현 미시마시)	8 월 6 일 【체험】마츠게강의 환경 정비 활동・방치된 죽림 벌채 (시즈오카현 미시마시)

【派遣事業】

9 月 18 日 【体験】梅花藻保全水田の整備（仁川広域市）	9 月 19 日 【体験】干潟の清掃（仁川広域市）
9 월 18 일 【체험】매화마름 보전 논 정비 체험(인천광역시)	9 월 19 일 【체험】갯벌 청소(인천광역시)
9 月 20 日 【視察】臨津江（京畿道坡州市）	9 月 21 日 【視察】清渓川（ソウル特別市）
9 월 20 일 【시찰】임진강(경기도 파주시)	9 월 21 일 【시찰】청계천(서울특별시)
9 月 22 日 【視察】昌徳宮（ソウル特別市）	9 月 23 日【視察】 Seoullo7017（ソウル特別市）
9 월 22 일【시찰】창덕궁(서울특별시)	9 월 23 일【시찰】Seoullo7017(서울특별시)

4. 参加者の感想（抜粋）

【招へい事業】

◆ 大学生

三島市では，何よりも源兵衛川の昔と今を比較するのが重要だった。汚かった川を，子供達が水遊びをし，魚が泳ぎ，生命力ある生態公園として，市民の力で復活させたの

はすばらしいと思った。直接足を入れたり魚を捕まえたりもした。このような教育的にも良い川が近くにあり，三島の人達が羨ましく感じた。富士山の雪解け水が流れてきて，一年中 16 度の温度を維持しながら綺麗な水の中で咲く梅花藻は本当に美しかった。

◆ **大学生**

グラウンドワーク三島の実践活動体験を通して，源兵衛川を再生し，三島梅花藻を復活させたという環境運動を知り感銘を受けた。長年にわたり環境に関心を持ち行動するということは尊敬に値する。帰国後は，途中でやめていた日本語の勉強をまた始めようと考えながら，我が江華島の梅花藻を守るためにも，もっと関心を持ち，皆が一緒に参加できるように広報し，大勢の人達に環境運動をすすめようと心に決めた。

【派遣事業】

◆ **大学生**

私は今回の事業に参加し，良い刺激を得て帰国することができた。それは，韓国と日本の抱える問題があまりに似通っているという点だ。文化や言葉などは共通点も多いが，実際に足を運んでみると少子高齢化問題や，人口流出問題など末端の市町村における社会構造の問題点はそっくりだった。きっとそれは，学歴重視，そして経済活動に重点を置いているなど，「何が大切なのか」「何が必要なのか」という価値観がよく似ているからだと思う。今回，韓国を訪れ，韓国の方から「生の声」を多く聞くことができ，韓国における現実的な社会問題に触れることができたことはとても良い学びになった。

◆ **高校生**

ソウルと江華島を訪れて，真っ先に考えたことは，自然が失われて初めて，その存在の大きさに気付くのでは遅いということを感じた。都会のきらびやかさと自然豊かな田舎町の姿では，都会に魅力を感じる人が多いかもしれないが，この事業を通して「自然」というもの，そのものが資源であり，つくり出すことができない他に変えられない存在だと学んだ。一から人が作り出すことができない唯一無二の存在という点では，そこにこそ美徳があり，人々が感じる安らぎがあり，どんなに便利な都会に代えられない価値があるのだと考えるようになった。今後は，自然や環境に対する意識が薄れかけている同年代に向けて，情報を発信できるようにしたい。

5. 受入れ側の感想

【招へい事業】

◆ **受け入れ機関**

楽寿園は，韓国とも歴史的なつながりがあり，園内には朝鮮灯篭がいくつかあります。それらにもふれながら，湧水の無い小浜池の風景はグラウンドワーク三島の活動に関連付けて説明しました。いずれも，興味深そうに熱心に聞いてくれました。

源兵衛川では，多くの子供連れの家族ともふれあいながら，富士山からの湧水のきれいさ冷たさに歓声をあげ，生き物探しや観察会を体験しました。年齢や国を超えた交流が，素晴らしかったと思います。たもを持ち，貴重な生き物と接して，日本人も韓国人

も，大人も子供も，喜々としていました。「水の都・三島」を支える人々の神髄を，心に刻んだひとときだったのではないかと思っています。これからも，環境保護活動を通して，日韓のより良い交流が続くことを願っています。

◆ 環境整備インストラクター

暑い中，今回の参加者のみなさんには様々な実践活動に取り組んでいただき，感謝している。三島のシンボルでもある梅花藻を通じた，韓国のみなさんとの海を越えた交流は本当に貴重な機会であった。三島でも韓国での梅花藻保全のことを広めていきたいし，韓国でも三島梅花藻のことをアピールしていただければと思う。これからも，お互いの国での環境保全活動を通じたこのような交流が増えていけば，こちらのやりがいにもつながると感じた。

【派遣事業】

◆ 協力団体スタッフ

韓国での環境活動の専門家として，日本社会で展開しているグラウンドワーク三島の活動から多くのことを学び，感じることも多かった。今回のプログラムでも干潟や梅花藻群落地，ソウルの清渓川，ソウルの森などを視察し，日本での成功事例を取り入れて，今後も絶えず環境活動に力を入れていくとともに，自然環境だけでなく，学生の資質向上に関する環境交流にも力を注いでいかなければならないという，既成世代としての責任感もより感じさせられる，有益な事業となった。

◆ 受け入れ機関

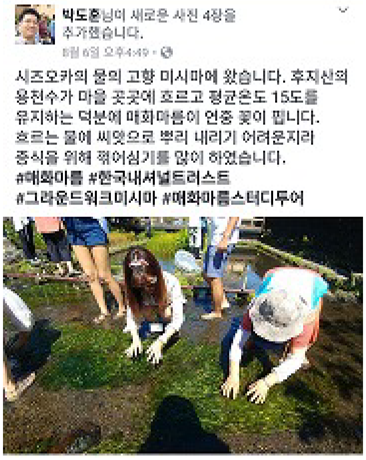
今回は，韓国の江華島とソウル市内，その近郊の地域における我々の活動地域で，日韓の学生と一緒に活動をした。国内の環境活動経験しかない私としては，日本から参加した学生たちの環境活動へ取り組む気持ちの違いを初めて感じることができた。

同年代の日本の学生たちの，真剣に，しかも積極的に参加する姿勢に感動した。説明にしっかり耳を傾けて，メモを取り，行動をともにする，それを一日の活動が終わった時の打合せの資料として，活用するなど，彼らの姿勢に日本の教育の一面を感じた。

個人的には，我々指導者は今後，参加する韓国の学生への指導要領を変えなければいけないと感じた。その一つとして，参加学生に対して心構えをどういう風に指導するかによって，内容や成果がいかに大きく左右されるかということを感じた。

6. 参加者の対外発信

【招へい事業】

<table>
<tr><td>
</td><td> </td></tr>
<tr><td>静岡県の水の郷・三島に来ました。富士山の湧水があちこちから出て，平均水温が 15 度を維持しているおかげで，梅花藻の花が年中咲いています。</td><td>大変暑い日でしたが，三島市内を流れる源兵衛川での自然観察会を見学。</td></tr>
<tr><td>시즈오카의 물의 고향·미시마에 왔습니다. 후지산의 용천수가 마을 곳곳에 흐르고 평균 온도 15 도를 유지하는 덕분에 매화마름이 연중 꽃이 핍니다.</td><td>매우 더운 날이었지만,미시마 시내를 흐르는 겐베에강에서 자연 관찰회를 견학.</td></tr>
</table>

【派遣事業】

<table>
<tr><td>
</td><td>
</td></tr>
<tr><td>今日は，韓国の学生と，環境を生かしたまちづくりについてディスカッションをしました。</td><td>韓国の江華島の干潟でゴミ拾いをしてきました。たくさんゴミがあって海を大切にしてほしいなと思いました。</td></tr>
<tr><td>오늘은 한국 학생들과 환경을 살린 마을 만들기에 대해 토론했습니다.</td><td>한국의 강화도 갯벌에서 쓰레기 줍기를 했습니다.많은 쓰레기가 있고 바다를 소중히 해 주었으면한다고 생각했습니다.</td></tr>
</table>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

【招へい事業】

訪日中の日程を振り返るとともに，事業の感想やアクションプランを発表した。内容としては，「途中でやめていた日本語の勉強を再開するとともに，絶滅危惧種を保護するためにSNSで広報を行う」などと語っていた。
방일중의 일정을 돌이켜보면서 사업에 참가한 감상과 액션플랜에 대해 발표했다.「도중에 그만둔 일본어 공부를 다시 시작하고, 멸종위기 종을 보호하기 위해 SNS로 홍보를 실시한다.」등의 내용이었다.

【派遣事業】

招へい事業・派遣事業の参加者が集い，日程を振り返るとともに，事業の経験を活かした環境保全活動やまちづくりを討論・発表した。内容は「マーケティングを学ぶ」，「SNS（英語，韓国語，日本語）を利用した広報」などと語った。
초청·파견 사업의 참가자들이 모여 일정을 돌이켜보면서 사업의 경험을 살린 환경보전 활동과 마을 만들기 활동을 토론·발표했다.「마케팅을 배운다.」「SNS를 이용한 홍보」등의 내용이었다.